

# 名古屋市立大学病院



病院長名	間瀬 光人
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車 3 番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

## □ 病院の特徴

当院は800床の病床、31の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜谷記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

## □ 研修プログラムの特徴

### 名古屋市立大学産婦人科研修プログラム

産婦人科専門医資格取得を目標に基幹病院及び連携施設をローテーションします。各々の施設の特徴を最大限に活用し世界の最先端の生殖（不育症・不妊症等）、周産期（ハイリスク妊娠・出生前診断等）、婦人科腫瘍（婦人科癌・婦人科内視鏡手術等）やウイメンズヘルスのスキルをバランス良く習得するコースです。学会発表や論文作成の指導も受けられ、一般臨床からサブスペシャリティまで6年次以降のキャリアプランの“コンパス”になる名市大産婦人科スーパーローテーションプログラムです。

#### <研修モデル>

1-2年次の初期研修は名古屋市立大学病院初期臨床研修医プログラムが適応されます。プログラム4（重点研修プログラム：産婦人科コース）は3年次以降の専攻医研修へのスムーズな移行に役立つ内容になっています。

臨床研修プログラム(例) (大学病院メインのパターン)		
3年目(専攻医1年次)	周産期医療 6か月(大学病院)	周産期・出生前診断 6か月(大学病院)
4年目(専攻医2年次)	婦人科悪性腫瘍 6か月(大学病院)	生殖医療(不妊症・不育症) 6か月(大学病院)
5年目(専攻医3年次)	婦人科内視鏡 6か月(東部医療センター)	地域医療 6か月(地域連携病院)

臨床研修プログラム(例) (市中病院メインのパターン)		
3年目(専攻医1年次)	関連病院で産科・婦人科一般(連携施設)	
4年目(専攻医2年次)	関連病院で産科・婦人科一般(連携施設)	
5年目(専攻医3年次)	周産期・出生前診断、生殖医療 (大学病院)	婦人科腫瘍(大学病院)

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照

[http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist\\_prg/dept.html](http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html)



## □ 主な連携施設

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、江南厚生病院、一宮市立市民病院、稲沢厚生病院、海南病院、知多厚生病院、豊川市民病院、蒲郡市民病院、いなべ総合病院 全10施設

## □ メッセージ

### 産科婦人科教授 杉浦 真弓

産婦人科は女性を思春期から生涯に渡って診察する診療科です。自分たちで検査を行い、患者とともに治療を考え、手術を含めた治療を完遂します。女性がキャリアを維持するために妊娠年齢が年々遅くなり、不妊症、流産を繰り返す不育症が増加しています。月経困難症、不妊症の原因である子宮内膜症も増加しています。かつては出産が終了してから罹患していた子宮筋腫、子宮がんなどの治療に対して妊孕性温存を考慮しなければいけません。精神疾患、膠原病などの合併症妊娠も増加しています。AYA世代のがん survivor のために卵子・精子の温存も必須となってきました。人生100年時代の長寿国である日本人女性が生き生きと過ごすために、折り返し地点の更年期以降の健康を守らなくてはなりません。



本学の不育症研究センターは文部科学省の共同研究拠点の認定を受けており、世界有数の研究施設です。着床前遺伝学的検査などの高度な医療も実施しています。出生数は減少の一途をたどり、出産はもはや当たり前のことではなくなっています。時代の変化を読み、対応すべき課題がわれわれ産婦人科にはたくさんあります。困難を乗り越えて出産を迎える喜びを患者とともに分かち合える、産婦人科はとても素敵な診療科です。

## □ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人	※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与/月額	228,000円~478,000円	(勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数/月	4回程度	(診療科により異なる)
・当直料/回	24,000円~34,000円	
・その他	年間有給休暇 20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
・応募連絡先	担当者	医療人育成課臨床研修係 専攻医募集担当
	電話番号	052-853-8545
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp